

< 第3号 >

2022年9月9日

「アマゾン配達員に人間らしい働き方を」を合言葉に労働組合をつくることで働きやすい環境をつくっていきましょう！

アマハイ ニュース

アマゾン配達員の労働組合に関するニュース

発行：東京ユニオン

〒160-0004 東京都新宿区四谷4-28-14

パレ・ウルー5階

電話：03-6709-8954

FAX：03-6709-8957

sekiguchi@t-uion.or.jp



横須賀に続き、長崎でも組合結成！

アマゾン配達員の皆さん、組合を作りましょう！

アマゾン配達員組合横須賀支部の結成を機に日本各地から組合をつくりたいという相談が寄せられるようになりました。そうした中、全国で2つ目となる組合が九州の長崎市で誕生しました。

グーグルの相談フォームに長崎から多くの相談が寄せられ、さらに6月に開催したホットラインでも相談をいただいたことで、全国ユニオンの担当者が長崎を訪問。今回、長崎支部の支部長と副支部長を担っていただいた2人の配達員に会うことができました。

話を聴くと1次下請は横須賀と同じ株式会社若葉ネットワーク（以下「若葉」）、しかし若葉と契約をしている配達員はおらず、全員が2次下請の埼玉県川口市に本社を置く株式会社Trump（以下「トランプ」）と個人事業主として契約して、長崎市内で配達をしています。さらに配達員は倉庫が小さいことを理由に、毎朝、LINEで「出勤時間」の指示をされ、トランプのユニフォームを着用しています。

こうしたことから、配達員は「個人事業主」として契約をしていますが、実態としては「労働者」である可能性が高いと、アマゾン配達員の弁護団もみています。

違法性の高い契約に加えて、長崎の配達員の敵は地形です。ときには250個にも達する横須賀の荷量には及びませんが、クルマが入り込めないような細い坂道、階段が多く、そこを重い荷物をもって徒歩で上り・

下りしなければなりません。アマゾン配達員に限らず、他の宅配業者の間でも泣かされることで有名な地域です。にもかかわらず、日当は全国のアマゾン配達員の中でも最低ランク、そこに自己負担をさせられている全国でもトップクラスで高額の高額ガソリン代が追い打ちをかけています。

組合結成前に配達員同士で意見をまとめて改善を求めましたが、まともに取り合ってもらえませんでした。そんなときに横須賀での組合結成のニュースに触れ、冒頭のホットラインに相談を寄せることになりました。

その後、職場で呼びかけを行い9月4日には15人が加盟して組合結成。翌5日には、長崎県庁で記者会見を実施（写真）したところ、地元・長崎をはじめ、多くのメディアに取り上げていただきました。

他のいくつかの地域でも組合結成に向けて動き出しています。増加する荷量に苦しめられているアマゾン配達員の皆さん、ぜひ、組合を作りましょう。



★アマゾン配達員の労働組合に関する問い合わせなどは上記発行者の東京ユニオン（労働組合）までお願いします。

★アマゾン配達員のご相談・情報提供に以下の相談フォームもご利用ください。全国から多数の相談があります。

<https://onl.bz/AG4MFeM>（配達ドライバー相談フォーム - Google フォーム）